



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日
上場取引所 東

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社
 コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寄本 晋輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983
 半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	40,831	3.6	698	—	669	—	283	—
2024年8月期中間期	39,427	17.2	△1,052	—	△1,160	—	△897	—

(注) 包括利益 2025年8月期中間期 321百万円 (—%) 2024年8月期中間期 △870百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	21.69	21.61
2024年8月期中間期	△69.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	28,880	7,326	24.3
2024年8月期	26,648	6,855	24.5

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 7,007百万円 2024年8月期 6,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,200	3.4	1,300	—	1,150	—	400	—	30.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期中間期	13,744,460株	2024年8月期	13,532,950株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	590,679株	2024年8月期	508,879株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期中間期	13,073,071株	2024年8月期中間期	12,963,442株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料5ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業展開するリユース業界は、今後も継続的な成長が見込まれており、2023年のリユース市場規模は前年比7.8%増の3兆1,227億円となりました。また、2030年にはその市場規模は4兆円に到達すると見込まれております。(出所：株式会社リフォーム産業新聞社「リユース業界の市場規模推計2024(2023年版)」(2024年9月))

当社グループは、循環型社会における主要な取組の一つである「リユース」を事業の中核とする企業として、「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに掲げ、事業活動を通じた持続可能な社会への貢献を目指しております。さらに、顧客やパートナーへの様々な選択肢提供により、当社グループが保有するモノのみならず顧客やパートナーが保有するモノの循環を促進することで新たな収益機会を創出すべく、2030年に「Circular Design Company」の実現を目指しております。

2027年8月期を最終年度とする3か年の中期経営計画「To the Next Stage : For 2030 Revival Vision」においては、収益性向上のため構造改革を進めるとともに、重点領域と定める小売拡大や海外仕入拡大に資する投資に厳選して対応することを基本方針とし事業拡大に努めております。

上記計画に基づいた事業活動の結果、当社グループの当中間連結会計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	39,427	40,831	1,403	3.6%
営業利益又は営業損失(△)	△1,052	698	1,750	—
経常利益又は経常損失(△)	△1,160	669	1,830	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は中間純損失(△)	△897	283	1,180	—

当中間連結会計期間における具体的な取組は以下のとおりであります。

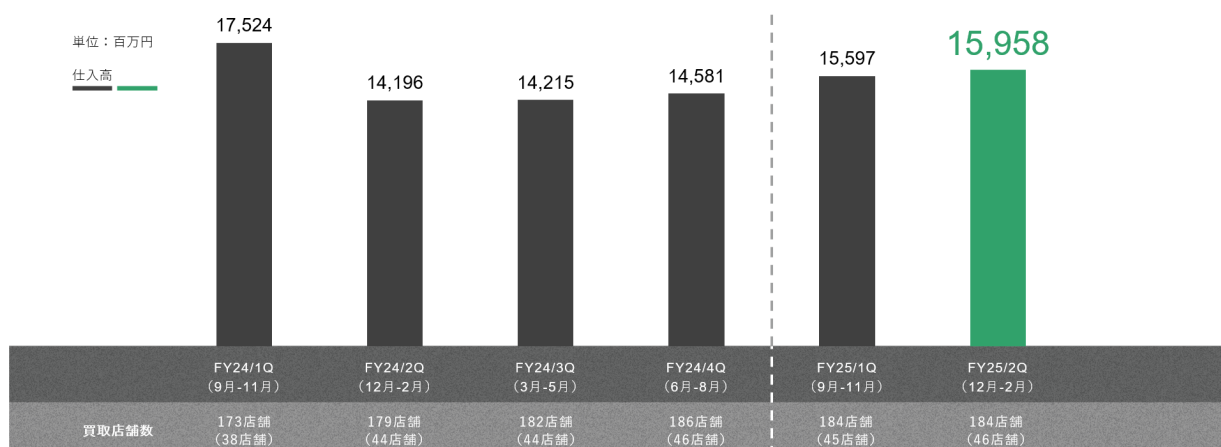
買取面においては、売上総利益率重視の買取を継続いたしました。また、国内外ともに1店舗当たりの効率化を推進したことに加え、百貨店や金融機関をはじめとしたアライアンスによる買取にも注力いたしました。海外においては、スクラップアンドビルドを進めながら、アジア・中東地域での仕入拡大に努め、WEBマーケティング強化にも引き続き注力いたしました。これらの結果、当中間連結会計期間における仕入高は31,555百万円(前年同期比165百万円減、同0.5%減)となりました。

当中間連結会計期間末の買取店舗数は、国内138店舗、海外46店舗の合計184店舗となりました。

また、なんぼやでの買取が伸長したことやアライアンスによる買取が好調に推移したことに加え、時計・バッグ相場が堅調だったことにより、当第2四半期連結会計期間(2024年12月1日から2025年2月28日、以下同じ。)における仕入高は15,958百万円(前年同期比1,761百万円増、同12.4%増)となりました。

仕入高・店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[仕入高・店舗数]



※ 店舗数には海外店舗も含む。()はそのうちの海外店舗数。

なお、上記の仕入高には自動車の仕入高を含めておりません。

販売面においては、期首から戦略的に確保していた在庫を小売で販売したことや、アライアンスによる買取が好調に推移したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は40,831百万円(前年同期比1,403百万円増、同3.6%増)となりました。

自社オークションについては、期首在庫不足の影響や、小売に積極的に商品を振り向けるべく第1四半期連結会計期間から「STAR BUYERS AUCTION(以下、「SBA」という。)」の出品量を抑制したことにより、当中間連結会計期間の自社オークション売上高は15,350百万円(前年同期比3,108百万円減、同16.8%減)となりました。一方、自社オークションにおける委託が好調に推移し、当中間連結会計期間の自社オークション(委託落札額)GMVは9,821百万円(前年同期比3,546百万円増、同56.5%増)となりました。これらの結果、当中間連結会計期間の自社オークション手数料売上高は1,509百万円(前年同期比16百万円増、同1.1%増)となりました。

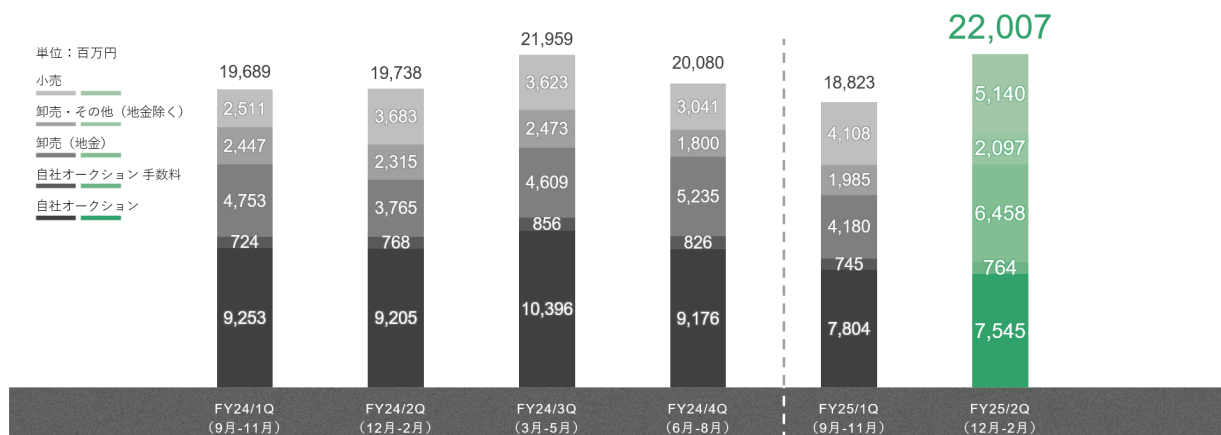
小売については、2024年10月にオープンした小売店舗ALLU SHINJUKUの出店により5店舗が稼働していることに加え、SBA出品までのリードタイムを活用し小売ECサイトに商品を出品するシームレス出品における販売が好調に推移したこと等により、当中間連結会計期間の小売売上高は9,249百万円(前年同期比3,054百万円増、同49.3%増)となりました。

また、当第2四半期連結会計期間の売上高は22,007百万円(前年同期比2,268百万円増、同11.5%増)となりました。

小売のハイシーズンに合わせ、期首より小売向けに確保していた在庫を計画通り小売で販売した結果、当第2四半期連結会計期間の小売売上高は5,140百万円(前年同期比1,457百万円増、同39.6%増)と過去最高を更新いたしました。また、アライアンスによる買取が好調に推移したことや地金相場の上昇等により、当第2四半期連結会計期間の卸売(地金)売上高は6,458百万円(前年同期比2,693百万円増、同71.5%増)となりました。

売上高(販路別)の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[売上高(販路別)]



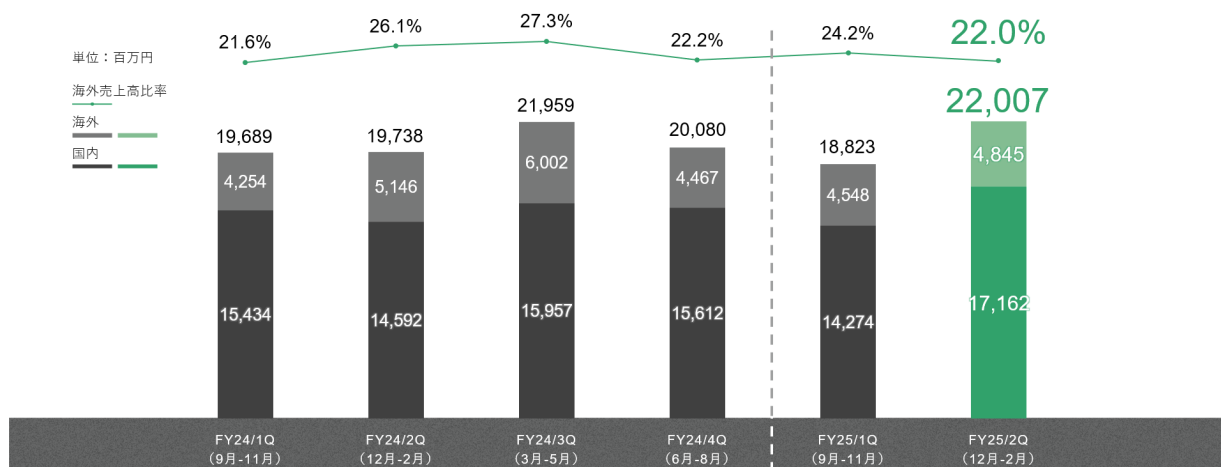
※1 自動車事業の売上高は卸売・その他(地金除く)に含む。

※2 第1四半期連結会計期間より、ALLU AUCTION売上高を小売から自社オークション・自社オークション手数料に組替。2024年8月期実績についても同様に組替。

当第2四半期連結会計期間においては小売のハイシーズンであったことや、卸売(地金)売上高が伸長したことにより、国内売上高は17,162百万円(前年同期比2,569百万円増、同17.6%増)となりました。一方、自社オークションへの在庫の振り向け量を調整したことにより、海外売上高比率は22.0%となりました。

売上高(国内・海外)の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[売上高(国内・海外)]



※ 第1四半期連結会計期間より、当項目では、国内においてインバウンド顧客向けに販売した売上高を「海外向け売上」として集計。2024年8月期実績についても同様。

当中間連結会計期間における売上総利益率は25.6%(前年同期比3.2ポイント増)となりました。これは、売上総利益率重視の仕入を継続したことに加え、時計・バッグ相場が堅調に推移したこと等によるものであります。

また、当中間連結会計期間における販売費及び一般管理費は9,745百万円(前年同期比148百万円減、同1.5%減)となりました。ALLU SHINJUKU出店に伴う地代家賃や償却費等の増加及び売上が伸長したことによる支払手数料の増加があった一方、WEBマーケティングをはじめ最適ナリソース配分による効率重視の事業運営を継続したことによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間における営業利益は698百万円(前年同期は1,052百万円の営業損失)となりました。なお、当第2四半期連結会計期間においては、売上総利益率重視の仕入継続や効率重視の事業運営等による構造改革を進めたことにより、営業利益は778百万円(前年同期は616百万円の営業損失)となりました。

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,875百万円増加し、19,476百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が463百万円増加したほか、商品が1,650百万円増加したこと等によるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、9,404百万円となりました。この主な要因は、小売店舗の出店等による有形固定資産の増加151百万円、システム開発に伴うソフトウェアの計上等による無形固定資産の増加64百万円、自動車整備工場の新設に伴う差入保証金の計上等による投資その他の資産の増加141百万円等によるものであります。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて2,232百万円増加し、28,880百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,084百万円増加し、12,296百万円となりました。この主な要因は、商品調達に伴い短期借入金が1,900百万円増加したこと等によるものであります。固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて322百万円減少し、9,257百万円となりました。この主な要因は、約定返済により長期借入金が261百万円減少したこと等によるものであります。これらの結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,762百万円増加し、21,554百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて470百万円増加し、7,326百万円となりました。この主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ77百万円増加したこと、及び親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が283百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて463百万円増加し、7,378百万円となりました。

当中間連結会計期間における各区分のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、117百万円の支出(前年同期は4,144百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益676百万円や減価償却費653百万円、未収消費税等の減少額716百万円等による資金の増加があった一方で、売上債権の増加額394百万円や棚卸資産の増加額1,648百万円、法人税等の支払額217百万円等による資金の減少があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、843百万円の支出(前年同期は1,193百万円の支出)となりました。これは主に、小売店舗出店等の有形固定資産の取得による支出406百万円、無形固定資産の取得による支出333百万円、自動車整備工場の新設等に伴う差入保証金の差入による支出115百万円等による資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,389百万円の収入(前年同期は4,353百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出297百万円等による資金の減少があった一方で、短期借入金の増加額1,900百万円等による資金の増加があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績を踏まえ、2025年8月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2025年4月11日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2025年8月期 第2四半期決算説明資料」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,916,859	7,380,011
売掛金	734,171	1,128,630
商品	7,110,435	8,760,464
未収消費税等	1,692,149	965,947
その他	1,746,668	1,825,014
貸倒引当金	△599,469	△584,043
流動資産合計	17,600,815	19,476,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,899,712	3,417,379
その他(純額)	1,324,803	958,963
有形固定資産合計	4,224,516	4,376,343
無形固定資産		
ソフトウェア	1,595,588	1,701,886
その他	213,523	171,291
無形固定資産合計	1,809,112	1,873,178
投資その他の資産		
関係会社株式	177,774	242,811
差入保証金	1,941,027	2,034,499
その他	895,503	878,024
貸倒引当金	△125	△50
投資その他の資産合計	3,014,181	3,155,286
固定資産合計	9,047,809	9,404,808
資産合計	26,648,624	28,880,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	366,983	426,055
短期借入金	6,800,000	8,700,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	559,580	523,180
未払法人税等	128,822	331,352
賞与引当金	335,220	394,807
資産除去債務	23,897	23,780
その他	1,797,778	1,697,809
流動負債合計	10,212,282	12,296,985
固定負債		
社債	500,000	400,000
長期借入金	8,013,153	7,751,563
資産除去債務	833,455	958,875
その他	233,789	147,287
固定負債合計	9,580,398	9,257,726
負債合計	19,792,680	21,554,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,295,404	1,373,285
資本剰余金	1,501,423	1,579,303
利益剰余金	4,234,439	4,518,017
自己株式	△668,488	△668,488
株主資本合計	6,362,779	6,802,118
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	167,341	205,185
その他の包括利益累計額合計	167,341	205,185
新株予約権	325,823	318,818
純資産合計	6,855,943	7,326,121
負債純資産合計	26,648,624	28,880,833

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	39,427,908	40,831,286
売上原価	30,586,591	30,387,140
売上総利益	8,841,317	10,444,146
販売費及び一般管理費	9,893,589	9,745,584
営業利益又は営業損失(△)	△1,052,271	698,562
営業外収益		
受取利息	466	2,779
持分法による投資利益	14,930	65,036
為替差益	23,323	—
その他	6,403	8,305
営業外収益合計	45,124	76,121
営業外費用		
支払利息	46,848	82,453
支払手数料	99,836	984
為替差損	—	18,265
その他	6,976	3,166
営業外費用合計	153,661	104,869
経常利益又は経常損失(△)	△1,160,808	669,814
特別利益		
固定資産売却益	1,535	—
新株予約権戻入益	—	16,968
特別利益合計	1,535	16,968
特別損失		
減損損失	10,409	10,110
特別損失合計	10,409	10,110
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△1,169,682	676,672
法人税、住民税及び事業税	164,604	376,831
法人税等調整額	△436,892	16,263
法人税等合計	△272,287	393,094
中間純利益又は中間純損失(△)	△897,394	283,578
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△897,394	283,578

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△897,394	283,578
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	26,622	37,844
その他の包括利益合計	26,622	37,844
中間包括利益	△870,772	321,422
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△870,772	321,422

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△1,169,682	676,672
減価償却費	548,999	653,494
のれん償却額	36,246	—
株式報酬費用	46,480	86,095
貸倒引当金の増減額(△は減少)	120,612	△15,306
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,565	58,805
受取利息及び受取配当金	△466	△2,779
支払利息	46,848	82,453
持分法による投資損益(△は益)	△14,930	△65,036
助成金収入	△1,161	△1,201
新株予約権戻入益	—	△16,968
固定資産売却損益(△は益)	△1,535	—
減損損失	10,409	10,110
売上債権の増減額(△は増加)	△222,636	△394,459
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,635,648	△1,648,768
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,010	59,071
未払又は未収消費税等の増減額	△1,020,929	716,197
その他	△432,421	△198,011
小計	△3,737,260	369
利息及び配当金の受取額	466	2,442
利息の支払額	△44,871	△85,020
助成金の受取額	1,161	1,201
法人税等の支払額	△370,224	△217,567
法人税等の還付額	5,918	181,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,144,810	△117,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△320,084	△406,687
無形固定資産の取得による支出	△406,922	△333,335
資産除去債務の履行による支出	△1,469	△1,257
差入保証金の差入による支出	△481,856	△115,172
差入保証金の回収による収入	14,878	13,200
その他	1,810	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,193,645	△843,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,200,000	1,900,000
長期借入れによる収入	6,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△355,808	△297,990
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
株式の発行による収入	—	1,174
自己株式の取得による支出	△55	—
配当金の支払額	△387,544	△19
その他	△103,360	△113,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,353,232	1,389,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,323	34,600
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△965,900	463,100
現金及び現金同等物の期首残高	8,334,817	6,915,372
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,368,916	7,378,473

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。